

エアバス A320neo の導入を決定 ～A320ceo も発注し、合計 13 機を発注～

- ・ **A320neo 10機の導入を決定、A320ceo 3機を含め、合計13機の購入契約を締結**
- ・ **A320neoの初号機は2019年に受領予定**

Peach Aviation 株式会社（以下:Peach、代表取締役 CEO:井上 慎一、本社:大阪府）は、本日、エアバス社（社長兼最高経営責任者（CEO）ファブリス・ブレジエ）の A320neo の導入を決定し、10機の購入契約を締結しました。A320neo を発注するのは、日本の LCC（低コスト航空会社）として初めてのことです。さらに、A320ceo 3機の購入契約も締結しました。

A320neo の初号機は2019年夏までに受領する予定で、既存の機材更新のほか、事業拡大にともなう新規導入機材として使用いたします。A320neo は、新型エンジンと大型のウイングチップであるシャークレットといった翼端デバイスなどの最先端技術を採用しています。これにより、従来型機と比較し、大幅に燃費が向上し、CO₂の排出量も削減されるなど優れた環境性能を有する航空機です。

Peachが運航している機材は全て新造機です。なお、現在運航しているA320ceo 18機は、2019年より順次A320neoに更新されます。

また、今回事業拡大のために発注した A320ceo 3機については、2018年度中に受領する予定です。



イメージ: 導入を決めた A320neo

【Peach が導入する A320neo の概要】

契約内容： 10 機
納入時期： 2019 年度第 1 四半期に初号機を受領予定(以降、約 2 年間で計 10 機を受領予定)
エンジン： 未定
装備座席数： 188 席(予定)

【Peach が導入する A320ceo の概要】

契約内容： 3 機
納入時期： 2018 年度中にすべて受領予定
エンジン： CFM56-5B4
装備座席数： 180 席

Peach について(www.flypeach.com)

Peach は、2012 年 3 月に関西空港を拠点として運航を開始しました。2014 年 7 月には那覇空港を関西空港に次ぐ拠点空港とし、2015 年 8 月には羽田空港に就航しました。現在、18 機の機材で、国内線 14 路線、国際線 12 路線に就航し 1 日あたり 90 便以上を運航するとともに、13,000 人以上のお客様にご利用いただいております。さらに、2017 年度には、仙台空港、2018 年度には新千歳空港を拠点空港とする予定です。